

# ふれあい

No. 11

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

## 謹んで新春のお祝いを申し上げます

保護者や地域の皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、当校の創立150周年にあたり、多くのお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

本年も、子どもたちの更なる成長と幸福に満ちた一年となりますよう、職員一同精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 今年の干支は…

3学期がスタートしました。始業式では、子どもたちに「干支」という二文字を提示し、「えと」と読むことを確認しました。しかし、この二文字をなぜ「えと」と読むのかについては分かりません。次に、今年の干支である「乙巳」を提示して、その読み方を尋ねましたが、これは難しく、簡単には読めません。「きのと み」と読むことを教え、この年が「頑張ったことの成果が出る年」であること、また「すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組むことが大切である」と伝えました。

その後、古代中国から伝わった文化である干支について説明しました。干支は、干（かん）と支（し）、つまり十干（10進法）と十二支（12進法）の組み合わせです。古代中国では、年・月・日・時・方位・角度・物事の順序など、多くの場面で活用されていました。しかし、こうした話をそのまま子どもたちに伝えると、分かりにくい部分が多くなります。

そこで、まずは子どもたちがよく知っている十二支について確認しました。「ね・うし・とら・う…」と順番に全部言える子どもがたくさんいました。また、方位について、北を「子」、南を「午」としていることを確認し、丑と寅が位置する北東が「鬼門」とされていることも話しました。このため、鬼は牛のような角を持ち、虎柄のパンツを履いているというイメージが生まれたことも紹介しました。一方、反対側の「裏鬼門」には、申（猿）、酉（鳥）、戌（犬）が位置し、「鬼退治の物語に出てきそうなメンバーだね」と話すと、子どもたちは「桃太郎だ!」と元気よく答えました。また、時間については、真夜中を「子」、お昼を「午」とし、そこから「正午」や「午前・午後」という言葉があることを確認しました。

古代中国から十二支が伝わったのは、日本だけではありません。多くの国に伝わっていますが、その一つであるベトナムの十二支を紹介しました。絵を提示して、日本の十二支とどこが違うのか、子どもたちに探



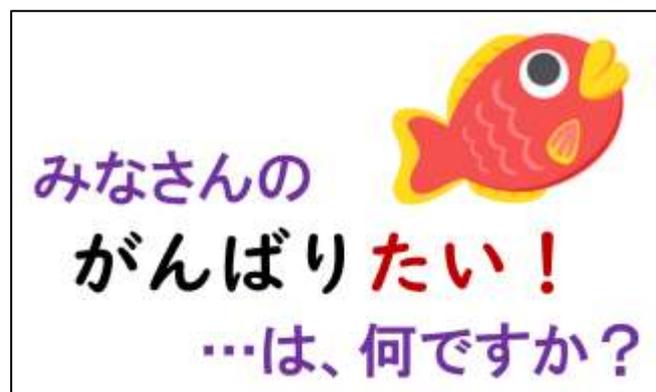
してもらいました。まず、牛が水牛になっています。そして、ウサギがいなくて猫がいます。また、羊がヤギに、イノシシが豚になっています。その国の生活に近いものが取り入れられたようで、文化のおもしろさが分かります。

次に、十干について説明しました。十干は、木・火・土・金・水の五行をそれぞれ兄と弟に分けて10にしたものです。「兄」は中大兄皇子（なかにのおおえのおうじ）のように「え」と読み、「弟」は「と」と読みます。これを順に並べると「木の兄（きのえ）」「木の弟（きのと）」「火の兄（ひのえ）」「火の弟（ひのと）」…となります。そして、それぞれに甲、乙、丙、丁…という文字が当てられています。この並びを見ていくと、語尾が「え、と、え、と…」と交互になることに気がきます。干支を「えと」と読む理由は、ここにありそうです。

さて、このように干支の仕組みを整理してから、改めて今年の干支「乙巳」を見てみると、「乙（きのと）」は「しなやかに伸びる草木」を表し、困難な状況の中でも紆余曲折を経て粘り強く進む姿勢を象徴します。一方、「巳（み）」は蛇を表し、脱皮を繰り返して成長する姿から再生と成長を象徴しています。そのため、今年は「頑張ったことの成果が出る年」と言えるのです。

最後に子どもたちに尋ねました。「頑張れば成果が出る年に、皆さんは何を頑張りたいですか?」と。

ご家庭でも、ぜひお子さんに「今年頑張りたいこと」について聞いてみてください。



# つばさ学年(2年生)

見つけよう 育てよう  
みんなでわくわく つばさっ子



2学期は、町探検や秋野菜の栽培、野菜の調理活動、あいさつ運動など、わくわくする活動を体いっぱい楽しんできました。季節の移り変わりと共に、町、人、自然、生き物などかかわりながら、五感を通してたくさんの学びを得ることができました。さらに、わくわくは続きます。3年生に向けて頑張る2年生の成長がりにご期待ください。

秋はさつまいも、冬は大根とかぶを収穫しました。「見て見て！すごいよ。」みんなで収穫の喜びを味わいました。

スイートポテトと米粉蒸しパン、おでんに大根もちと、みんなでおいしくいただきました。お世話になった方々に「畑のお礼」を届けようと相談中です。

探検で見つけたものや気付いたことをみんなで話し合いました。あいさつ運動では、2年生が中心となって、全校に元気なあいさつを響かせました。



# 5年生ひかり学年

昨年の5月に田植えを行い、9月の収穫に向けて、地域や専門家の方々に支えていただきながら、活動してきました。

子どもたちは、稲が元気に育っているか何度も観察したり、害獣対策としてかかしを立てたりしながら、お米を育てる大変さを感じていました。9月には無事に約330キロのお米を収穫することができました。



収穫したお米は、学校で調理をしたり、家に持ち帰って食べたりして、お米の美味しさの改めて感じました。そして、「お米の美味しさや自分たちの頑張りを多くの人に知ってもらいたい」という思いから、販売を決めました。

各学級で、販売するお米の名前やラベルのデザインを考えたり、計量や袋詰めをしたりして、準備を進めました。当日は、事前に決めた役割分担で、お客さん呼び込み、多くの方に買ってもらうことができました。販売後のアンケートには、「美味しかった」「5年生の皆さんが頑張っているのが伝わった」とあり、子どもたちの思いが多くの人に伝わりました。

